

広域サイクリングルートの素案について

広域サイクリングルートの設定方針

※ 第1回岩手県広域サイクリングルート検討会議にて承認済み

番号	項目	内容	備考
①	ルートの数	○岩手県自転車活用推進計画に基づき4ルートとする。	
②	ルートの通過地域	○各ルートが複数市町村に跨ること。 ○4ルートで県内全ての市町村を通過すること。	
③	ルートの選定	○県管理自転車道線等の既存の道路を利活用するルートであること。 ○矢羽根等の自転車通行空間が確保可能な道路であること(拡幅等の新たな道路整備が伴わない)。	
④	ルートの延長	○各ルートの延長が概ね100km以上であること。	※1
⑤	ルートの魅力	○以下のいずれかを満たすルートであること。 ・地域を代表する観光地(歴史・文化・景勝地等)を有機的に連携していること。 ・国際的に著名な観光地を有機的に連携していること。 ・魅力的な景観の地域を通過していること。 ・複数の地形条件を通過して地形の変化を楽しむことができるルートとなっていること。	※1
⑥	ルートの安全性	○自動車交通量が概ね10,000台/以上の幹線道路において車道混在となる区間を避けたルートであること。 ※ただし、郊外部において、「走行環境の安全性」に規定する整備がされている場合を除く。また、都市部においては、ルートに並行して代替ルートが無い場合は車道混在でもやむを得ないものとするが、市町村の自転車活用推進計画における自転車ネットワーク計画に位置付けられていること。また、現地及びルートマップ等で注意喚起すること。	※1
		○狭小幅員のトンネルを含まないルートとすること。 ※近くに代替ルートが無い場合は狭小トンネルを利用したルートでもやむを得ないものとする。ただし、現地及びルートマップ等で狭小トンネルである旨注意喚起すること。	※1
⑦	ルートの連続性	○自転車で通行できない区間がないこと。 ※近くに代替ルートが無い場合はやむを得ないものとする。ただし、現地及びルートマップ等で注意喚起されるとともに、自転車を押して通行できること。	※1
⑧	ルートの休憩施設等	○いわてサイクルステーションなどの休憩施設や宿泊施設が一定間隔に存在すること。 ・休憩施設：概ね20kmごと ・宿泊施設：概ね60kmごと	※2

※1 ナショナルサイクルルートの指定要件(ルート設定)

※2 ナショナルサイクルルートの指定要件(受入環境)

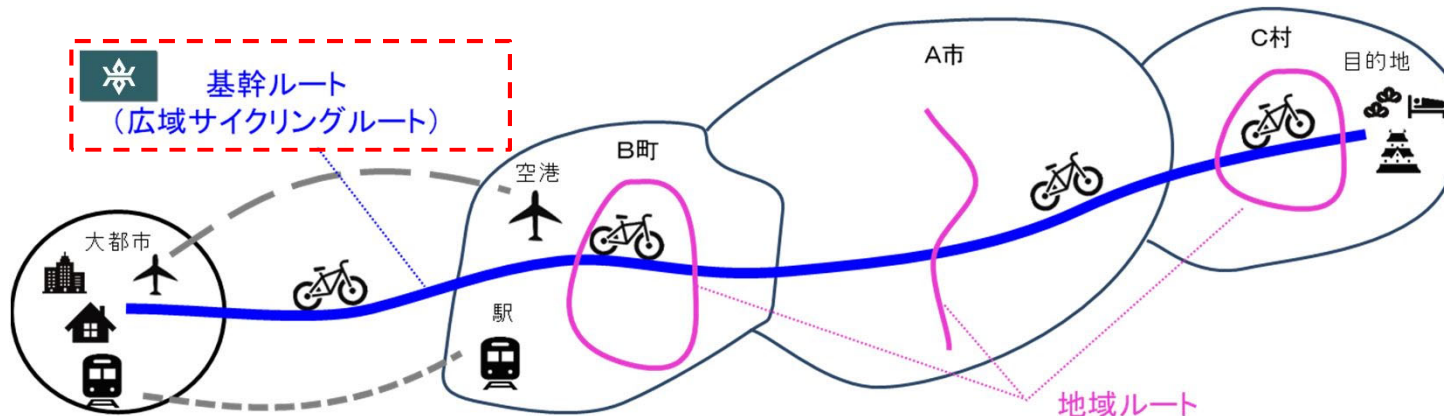
広域サイクリングルート ～設定コンセプト～

- サイクリングルートは、市町村を跨ぐような骨格となる「**基幹ルート（広域サイクリングルート）**」と、基幹ルートに接続する短距離の「**地域ルート**」で構成する。
- このうち、**岩手県**では「**基幹ルート（広域サイクリングルート）**」の設定・整備を行う。

■サイクリングルートの比較と構成※

	基幹ルート（広域サイクリングルート）	地域ルート
ルートの特徴	市町村を跨ぐような骨格となるサイクリングルート	（基幹ルート周辺の）地域の短距離のサイクリングルート
コンセプト	空港や駅、都市部と目的地を結び、安全・安心に移動できる（案内や休憩施設が整っている）	基幹ルートから離れている地域の観光地や景勝地等、隠れた地域資源を楽しむ
コースレベル	主に、 中級者～上級者 向け	主に、 初級者～中級者 向け
想定するターゲット	休憩・宿泊施設を活用しながら、複数日に渡り長距離を走行する本格的なサイクリスト	地域の特色や観光を楽しみ、健康増進等を目的としたサイクリスト

※ 国土交通省資料（モデルルート設定の考え方）を参考に整理



▲基幹ルート、地域ルートのイメージ

広域サイクリングルート素案の検討手順

○広域サイクリングルートは、各ルートのテーマ・ストーリーを設定したうえで、ゲートウェイとなる起終点や、観光地等の経由地を通過するルートを設定する。

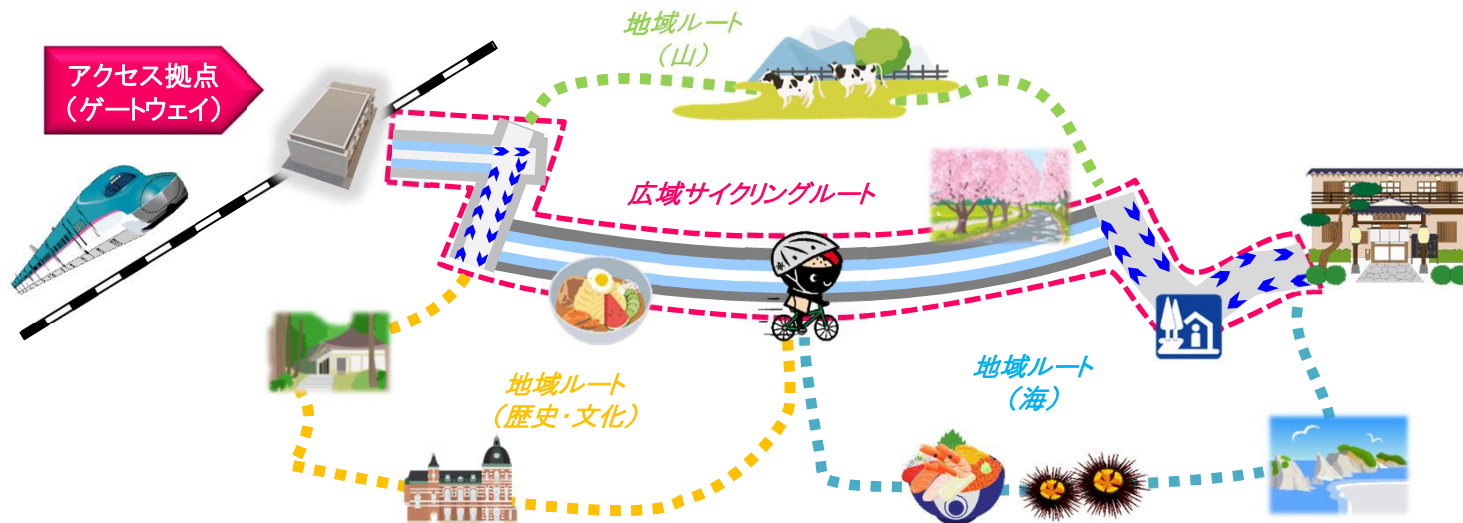
■広域サイクリングルートの検討手順

テーマ・ストーリー
(案) の設定

- ・サイクリングで県内の魅力を堪能できるように、特色が異なる地域別にテーマ・ストーリーを設定する

広域サイクリング
ルート素案の設定

- ・地域（テーマ）毎に、広域サイクリングルートを設定する
- ・各地域のアクセス拠点となるゲートウェイや経由地（観光地等）を設定し、それらを結んだ導線をルートとして設定する



▲広域サイクリングルートのイメージ

岩手県広域サイクリングルート テーマ・ストーリー(案)

テーマ(案)

三陸沿岸の景色と海産物の宝庫を楽しみ、復興・伝承を学ぶルート

ストーリー(案)

三陸復興国立公園を代表する景勝地の「浄土ヶ浜」「北山崎」をはじめ、リアス式海岸地形で育まれた豊かな「海産物」や「琥珀と恐竜の太古ロマン」を堪能できます。また、東日本大震災の被災経験を伝承する「たろう観光ホテル」「釜石鵜住居復興スタジアム」「奇跡の一本松」などがあり、復興の今を感じ、学ぶことができるルートです。

●浄土ヶ浜



出典:岩手県観光協会

●三陸の海産物(久慈のウニ)



出典:岩手県観光協会

●久慈琥珀



出典:岩手県観光協会

●津波遺構たろう観光ホテル



出典:岩手県観光協会

●釜石鵜住居復興スタジアム



出典:岩手県道路環境課

●奇跡の一本松



出典:岩手県観光協会

テーマ(案)

美しいまち並みや文化を楽しみながら、水辺と名湯をめぐるルート

ストーリー(案)

歴史情緒あるまち並みの「盛岡市」や、詩人・童話作家として有名な宮沢賢治の故郷「花巻市」を巡ることができます。奥羽山脈の雄峰を湖面に映し出す「御所湖」「錦秋湖」や、約2kmに渡る渓谷「巖美溪」を散策し、走ったあとは、「つなぎ温泉」「花巻温泉郷」「湯田温泉郷」などの個性豊かな温泉郷と岩手県を代表するグルメ「前沢牛」「盛岡三大麺」で心も身体も満たされるルートです。

●盛岡市街地(岩手銀行赤レンガ館)



出典:岩手県観光協会

●宮沢賢治記念館



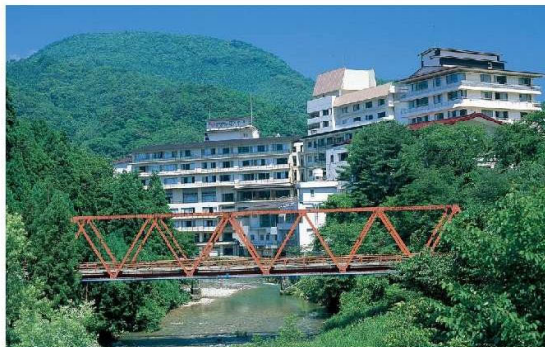
出典:岩手県観光協会

●巖美溪



出典:岩手県観光協会

●花巻温泉郷



出典:岩手県観光協会

●前沢牛



出典:岩手県観光協会

●盛岡三大麺



出典:岩手県観光協会

テーマ(案)

歴史文化を伝える世界遺産と四季の彩りをつなぐルート

ストーリー(案)

「平泉の文化遺産」や現存する日本最古の高炉跡「橋野鉄鉱山」など、世界が認めた遺産群を目にすることができます。また、奥州藤原氏の歴史を伝える「えさし藤原の郷」や日本のふるさとの原風景が広がる「遠野ふるさと村」、ユネスコ無形文化遺産である「もち食文化」など、豊かな歴史と文化を体感できます。みちのく三大桜名所の一つ「北上展勝地」などの景勝地も点在し、四季の移ろいに魅せられるルートです。

●平泉の文化遺産(毛越寺)



出典:岩手県観光協会

●橋野鉄鉱山



出典:岩手県観光協会

●えさし藤原の郷



出典:岩手県観光協会

●遠野ふるさと村



出典:岩手県観光協会

●もち食文化



出典:岩手県観光協会

●北上展勝地さくらまつり



出典:岩手県観光協会

テーマ(案)

酪農や広大な高原からの景色、歴史的な文化財を楽しむルート

ストーリー(案)

日本最大級の民間総合農場である「小岩井農場」や日本三大鍾乳洞の1つである「龍泉洞」、広大な自然森林公園や高原が広がり、岩手の誇る大自然を存分に満喫できます。また、東北の仏教文化の中心として歴史を刻んだ「天台寺」、二戸地域で受け継がれる「漆文化」、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)」などもあり、歴史的価値の高い地域の「宝」を堪能できるルートです。

●小岩井農場(滝沢市/雫石町)



出典: 岩手県道路環境課

●龍泉洞(岩泉町)



出典: 岩手県観光協会

●平庭高原(久慈市/葛巻町)



出典: 岩手県観光協会

●天台寺(二戸市)



出典: 岩手県観光協会

●へっちょこだんごと雑穀おにぎり(二戸市)



出典: 岩手県観光協会

●御所野遺跡(一戸町)



出典: 岩手県観光協会

【広域サイクリングルート】全体ルート(素案)

